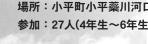
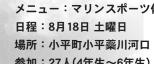
町外へとび出し、

体験学習!



参加:27人(4年生~6年生)





今回の教室で使用したヨット。小さいながらもジブセールというメインセール(中央の帆)に流す風をコントロールする補助の帆が装備さ

子ども達は4つの班に分かれ、それぞ

ローボー

Ļ

バナナボートの4種類、

今回体験したのはヨット、

カヤック、

れインストラクター の指導のもと初め

ジャ ヨッ

は小平蘂川河口で、

ここは地元の人が

トやカヌー などを行うマリンレ

の拠点になっているそうです。

参加させていただきました。

実施場所

センター

が実施する体験プログラムに

館を出発し、子ども達を乗せたバスは

小平町B&G海洋センターに到着。

同

ズン初めての町外での開催です。

公民

第4回目の教室となっ

た今回のメ

はマリンスポー

· ツ体験、

今シー

れた、本格的なヨットです。

まるくしてい

いました。

するヨットの仕組みに子ども達は目を 船だけでしたが、風の力をうまく利用 作は簡単にはできませんので今回は乗 風を上手に捉えることが重要で、

その

大きな帆に風を受けて進む船なので、

ヨットはみなさんご存じのとおり、

いろいろな船を一度に体験

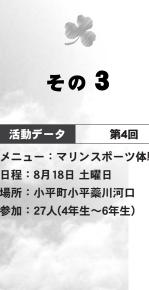
ての乗り物にチャ

レンジしていました。

ためにはロープなどを使って帆の向き

を変えるなどの操作をします。

この操



カヤックに挑戦する子ども達。 パドルの使い方が難しく、 真っ直ぐ進むのは大変です。

おまけに進行方向が見えないため トは迷走してい ました。

颯爽と走ります。 こちらは漕ぐ必要もなく、 まいましたが迫力満点で大喜びでした。 るインストラクターの演出(いたずら) に引かれるバナナボー 一番人気があったのはバナナボー トから振り落とされてし 水上バイクを運転す トに乗って海を 水上バイク

ですが、

力加減が難しくなかなか真っ

でも、

しばら

このパド なったパド

ルで左右交互に水をかくわ

ルという道具を使います。

前に進むためには両端が水かき部分に

ト半身を全部艇内に入れて乗ります。

クは前後に長く、

幅は細身で

やコンピュー ぶ楽しさを見つけたようでした。 なる現代で、 今回の教室でしたが、 普段ではなかなか経験することのな またひとつ自然の中で遊 タゲー ムが遊びの主流と テレビゲー

は反対方向に進む一般的なボ-

トです

ルを漕ぐことによって体の向きと

トは4人乗りのボー

トで

こちらも子ども達にとっては初め

人が1本ずつオー

ルを

持って漕ぎますが、

タイミングが取れ

来できるようになりました。

く練習しコツをつかむと、 直ぐ進めませんでした。

自由に行き







安全でなっていたっとなったことであるとの終わりですが、まるとの終わりですが、まるというというというというというというというできない。

^トを準備して9が、来年はぜ

遊びま.





す。右に行く時誰が漕ぐ?

たくさんあって複雑です。

ライフジャケットの重要性と着用 のしかたを教わる子ども達。これ で準備万端、活動開始です!

ライフジャケット



自

着用が義務付けられていますが、ます。小型船舶等の乗船時にはを水面上に出して浮いていられを水面上に出して浮いていられ 衣)。 不 覧つ (本での活) カヌー体験など水辺での活動もましょう。自然教室では釣りやその他の海遊びなどでも着用し イフジャケットは全員着用です。たくさんありますが、もちろんう マリンスポー 不慮の事故や転覆などによがライフジャケット (救命胴 ノイフジャケット (救命胴)海での活動時に欠かせな ツの もちろんラ

マリンスポー ツや釣りなどを